



い・Call

第72号 2019年8月

い・Callとは…

イコール(平等)を意味し、『い』には「意見・意志のある人達」が、『Call』には「呼びかけ合い男女共同参画社会を作ろう」との思いが込められています。



【Contents】

- 多様な選択を可能にする学びの充実
～令和元年度男女共同参画白書から～
- 男女共同参画講演会のご案内

加賀市ホームページ(男女共同参画係)

http://www.city.kaga.ishikawa.jp/folder/04cityplanning_3.html



石川県ホームページ(男女共同参画課)

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/danjo/index.html>



発行

加賀市役所 地域づくり推進課
男女共同参画係
☎0761-72-7836

多様な選択を可能にする学びの充実

～令和元年度男女共同参画白書から～

6月14日に「令和元年度版男女共同参画白書」が閣議決定、公表されました。

この白書は男女共同参画社会基本法に基づいて、毎年国会に報告するもので、今回で20回目になります。

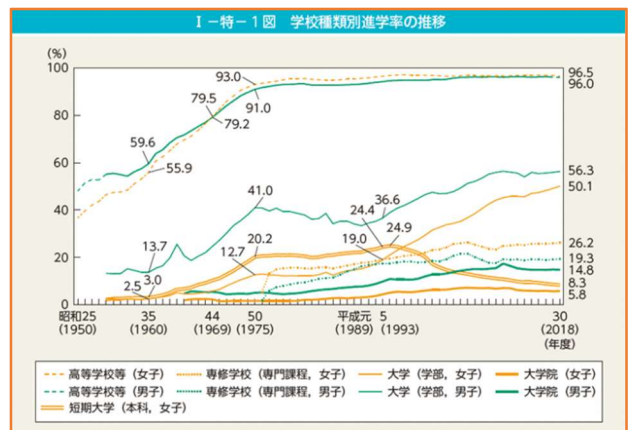
今回の白書では、特集として、「多様な選択を可能にする学びの充実」が取り上げられました。ここでは、特集のポイントを紹介します。詳細は内閣府男女共同参画局ホームページでご確認ください。

http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/index.html



1. 女性の教育・学びの進展

女子の高等教育は、高度経済成長期に短期大学を中心に進学率が上昇しました。バブル経済崩壊まではやや停滞するも、その後、大学への進学率は上昇しました。しかしながら、依然として男子の大学進学率を下回っています。(I-特-1 図)



2. 進路選択に至る女子の状況と

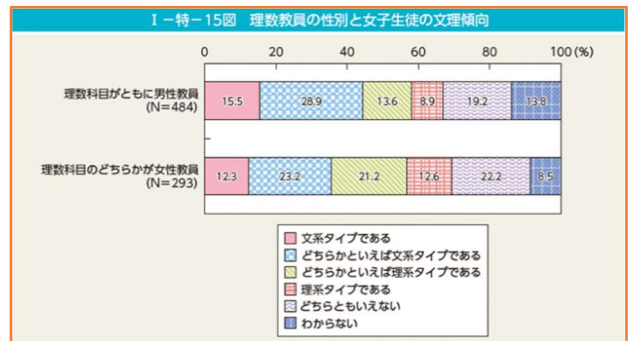
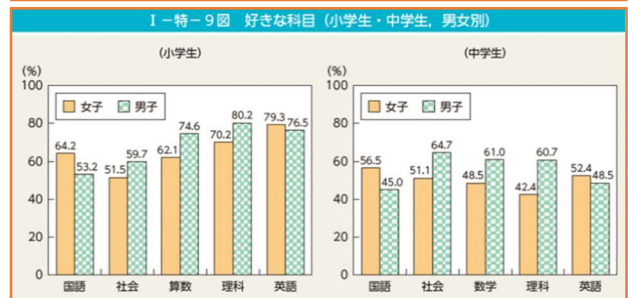
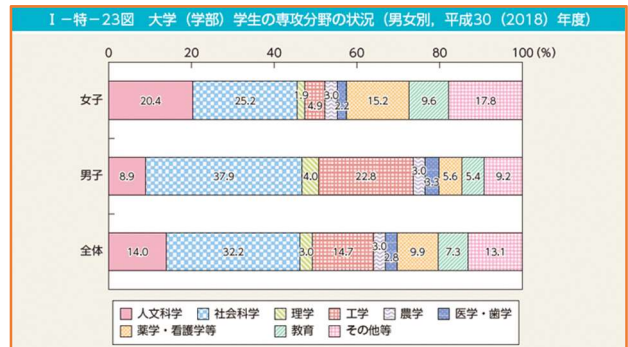
多様な進路選択を可能とするための取り組み

大学(学部)の女子割合は45%ほどになりますが、専攻別でみると、工学を専攻する女子が際立って少ないことがわかります(I-特-23 図)

小学生では、国語よりも理科が好きと答える女子の方が多いのですが、中学生になると数学や理科が好きな割合は減少し(I-特-9 図)、自分をいわゆる「文系タイプ」とする女子が多くなります。

ただし、中・高で理系科目を女性教員から教わった女子は「理系タイプ」とする割合が高くなっており(I-特-15 図)、理数科目の女性教員の存在が、身近なロールモデルとして女子の目に映っていると考えられます。

多様な進路選択のためには、学生・生徒が固定的性別役割分担意識等にとらわれず、主体的に進路選択するためのキャリア教育の充実や、女性研究者が働きやすくすることが大切になります。



3. 社会人の学び

経済や社会の変化に応じ、生涯を通じて社会で活躍するためには、若年期に身に着けた能力だけでは不十分な場合もあり、社会に出た後も学び続けることが必要となっています。

仕事のための学びに必要なことについては、男性では「仕事にかかる負担が少なくなること」が最も多く、次いで「経済的支援があること」、女性では「家事・育児・介護などにかかる負担が少なくなること」が挙げられています(I-特-31 図)。

仕事以外の活動(地域活動や家庭生活、趣味など)での学びについては、学びのハードルが、男性では「仕事が忙しくて時間がないから」が多数を占め、女性では「仕事が忙しくて時間がないから」となっています(I-特-39 図)。

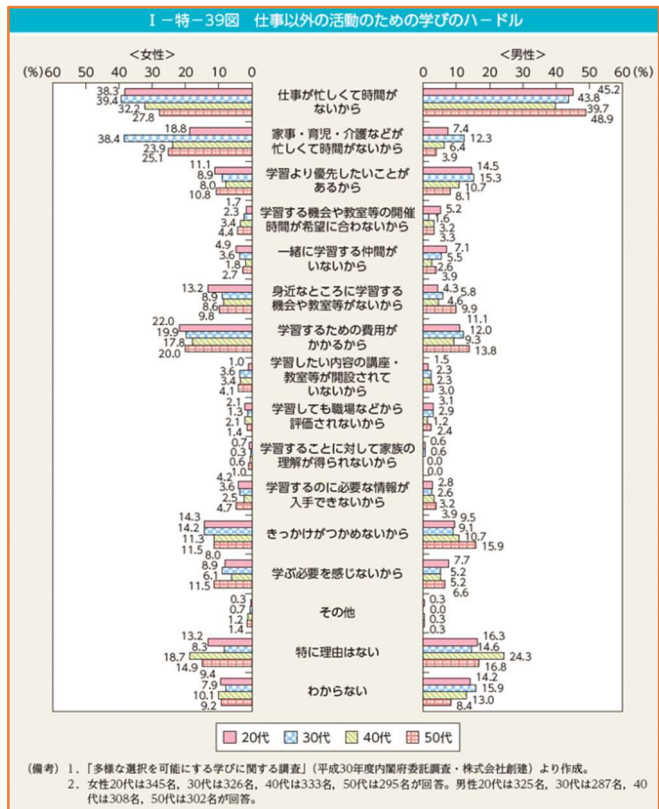
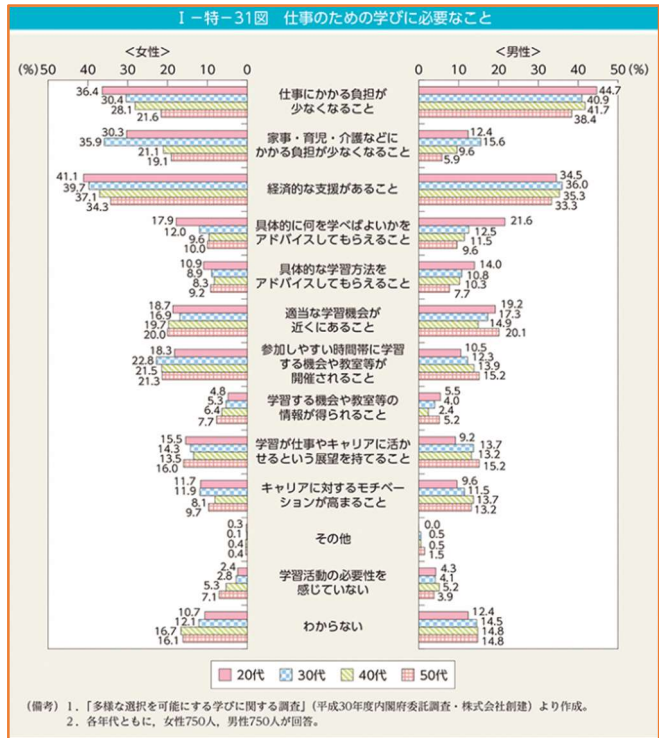
家事・育児の負担が女性に偏っていること、男性中心型の労働慣行など、固定的な性別役割分担意識が女性の学びも男性の学びをも制約していることがうかがえます。

4. 学びの充実を通じた

男女共同参画社会の実現に向けて

人生100年時代を見据え、働き方が多様化する現在、社会人の学び直しの機会は男性にとっても女性にとっても必要性が高まっています。

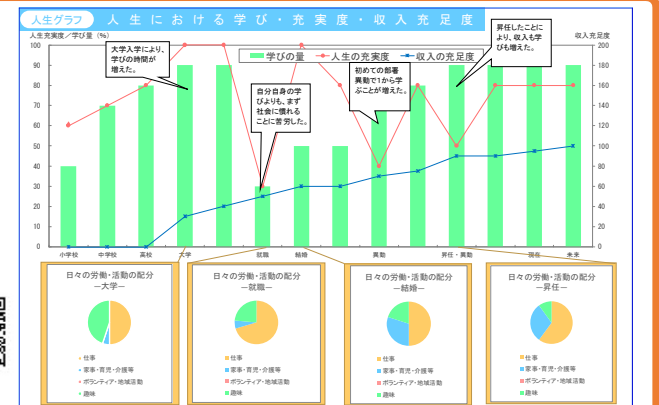
男女が共に仕事や家事を分かち合い、学びの機会を充実させ、人生の多様な選択を可能としてみましょ。



人生グラフ を作成してみませんか?

内閣府男女共同参画局のホームページには、人生グラフ作成ツールが掲載されています。あなたの様々なライフイベントや学びで彩った「人生グラフ」があなたのライフプランを考えるきっかけになりますように。

http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r01/zentai/index.htm



異文化コミュニケーションが奏でる

女(ひと)と男(ひと)とのハーモニー

～男女共同参画講演会のご案内～

講師

ジェフ・バーグランド氏

京都外国語大学教授

男性の考え方と女性の考え方はなぜ違うの？

男性と女性が協調して社会参画をしていくにはどうしたらいいの？

男女のコミュニケーションは、日本人と外国人のように、それぞれの人生経験が異なる者同士の異文化コミュニケーションとしてとらえることでうまくいく？！

日本を愛し、京都在住 50 年。テレビ番組でも人気のジェフ・バーグランド氏が、男女のコミュニケーションのコツを異文化コミュニケーションの観点から語ります。



講師プロフィール

1949(昭和24)年 アメリカ合衆国南ダコタ州生まれ

1966(昭和41)年 ミネソタ州カールトン大学入学

1969(昭和44)年 同志社大学留学生として来日

1970(昭和45)年 カールトン大学卒業

同年9月、同志社高校に就職。

大手前女子学園教授、帝塚山学院大学教授を歴任し、2008(平成20)年に京都外国語大学教授に就任、現在に至る。

趣味は尺八、町屋の掃除、鴨川のジョギング、皿洗いなど。

京都在住50年、現在は江戸時代後期に建てられた築160年の町家に暮らす。


日本人以上に日本の文化を愛する一人でもあり、京都国際観光大使として、英語で「ジェフと京都を旅しよう！」を世界に発信中。

とき 令和元年**8月31日(土)**

午後**1時30分**～

ところ **加賀市市民会館大ホール**

※手話通訳・要約筆記があります

編集後記 令和元年度初の  Call は、「男女共同参画白書」を取り上げました。この白書は、男女共同参画社会の形成の状況や施策を報告するほか、毎回特集テーマを設けて、課題の整理、深堀りをしています。図表やコラムも充実していますので、是非のぞいてみてください。

加賀市 男女共同参画係